

熱中症に注意して、  
楽しい夏を  
過ごしましょう！

▶問い合わせ  
湯浅広川消防組合消防本部 ☎64・0119  
火事・救急・救助は119



### 熱中症とは？

温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温調節機能が働かなくなり、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温、湿度が高く体から熱が逃げにくく熱中症になる場合が多くありますので注意が必要です。

### 熱中症を防ぐためには…

熱中症患者のうち、半数以上が65歳以上の高齢者となっています。

高齢者の方は、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなっていることがあります。

そこで次のことを守りましょう！

#### ①水分、塩分の補給

- ・20～30分ごとにコップ1～2杯程度の水分補給
- ・汗で失った塩分も補えるスポーツドリンクや食塩水（1ℓに食塩1～2gの食塩）が効果的

#### ②涼しい室内環境づくり

- ・扇風機やエアコンを使って、室温28度を超えないようにしましょう。
- ・換気、遮光カーテン、すだれを利用しましょう。

こんな時はすぐに救急車“119番”  
を呼びましょう！！

- ・自分で水が飲めない
- ・脱力などで動けない
- ・意識がない、反応がにぶい
- ・全身のけいれん など

#### 救急医療情報センター

☎073・426・1199

・24時間体制

#### 子ども救急相談ダイヤル

☎073・431・8000（#8000）

・平日……………19:00～23:00

・土、日、祝日… 9:00～23:00

## 湯浅広川消防組合からのお知らせ

『あなたなら無事故の着地 決められる！』

6月4日（日）から6月10日（土）までは

危険物安全週間です。

日頃から、身の回りの危険物の安全な使用・保管に理解を深めていきましょう。

- ・セルフスタンドでは、車の給油キャップを開ける前に静電気除去シートにタッチしましょう。
- ・セルフスタンドでのガソリン携行缶や水上バイクへの給油は違法です。これらに給油の際は、従業員が給油をしてくれるガソリンスタンドで行ってください。
- ・灯油やガソリンは決められた容器で直射日光の当たらない場所で保管しましょう。
- ・消毒用アルコール、スプレー缶、除光液なども危険物です。火の気を近づけない様に注意しましょう。
- ・オイルのしみこんだ大量のタオルも自然発火の危険があるので、乾燥後も注意しましょう。

お問い合わせ

消防本部予防課 ☎22・3128

## 平成28年度 太陽光発電設備設置事業完成



平成29年3月に庁舎駐車場の屋根に太陽光パネル、庁舎屋上に蓄電池を設置し、太陽光発電設備により災害時における避難住民用の電力供給が出来るようになりました。

・太陽光発電設備 10kW ・蓄電池 15kWh